

JR東海労ニュース

No.1585

2011年8月1日

JR東海労働組合

労働者の団結力で一日も早い復興を！ 連合救援ボランティア第16陣に参加！

JR東海労ではJR総連の仲間と共に、連合中央が取り組んでいる「連合救援ボランティア」第16陣（7月24日～30日）に参加しました。

作業は宮城野区岡田地区の住宅街で側溝に溜まった泥を出すことでしたが、雨水を排水するためには必要な作業で、住民の方から差し入れを頂くなど感謝の気持ちが伝わってきました。

被災地では大震災から4ヶ月以上を経た今でも、多くの方が避難所生活を余儀なくされています。大津波によって大切な家族を失い、家を失った被災者がたくさんいることを忘れてはなりません。

私たちは自然の驚異を実感しながらも、人間として労働者として、こうした被災者の皆さんが一日も早く日常生活に戻れるよう、精一杯奮闘してきました。



JR総連・JR北海道労組・鉄研労・JR東海労の参加者



自然の驚異を実感！人間として
労働者として被災地の復興を考えよう！